



# 東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

## 中学校教師用ストレス尺度の開発と検討

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-06-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森脇, 由梨子, 松田, 修 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/108089">http://hdl.handle.net/2309/108089</a>

## 中学校教師用ストレス尺度の開発と検討

### The development and examination of job stressor scale of teachers in junior high school

森 脇 由梨子\*・松 田 修\*\*

Yuriko MORIKAWA and Osamu MATSUDA

教育心理学講座

#### Abstract

The purpose of this study was to clarify what and how junior high school teachers appraised as stressful and to discuss how to improve the teacher's mental health. Forty-eight teachers who worked at public junior high schools were surveyed with a questionnaire which included a job stress scale for junior high school teachers. This scale consisted of forty-eight items and had six subscales (e.g., time-pressure). The values of internal consistency and criterion-related validity with the SRS-18 as a criterion were satisfactory. The subscale score of time-pressure was significantly higher than any other subscale-scores. Taking charge of club activities was significantly associated with the stress response. These results seem to suggest that reducing the burden of work on each teacher, particularly of the taking charge of club activities, is needed in order to improve the job stress.

**Key words:** teacher, junior high school, stressor, stress

*Department of Educational Psychology, Tokyo Gakugei University, 4-1-1 Nukuikita-machi, Koganei-shi, Tokyo 184-8501, Japan*

**要旨:** 本研究の目的は、公立中学校教師が勤務中にどのようなことをどの程度ストレスと感じているのかを明らかにするストレス尺度を作成し、教師個人の健康問題だけでなく教師という職業が影響を及ぼす学校環境の改善をも実現するための指針を得ることである。尺度作成のため、公立の中学校に勤務する教師48名を対象に質問紙調査を行った。

ストレス尺度の内的整合性を確認するため  $\alpha$  係数を算出した結果、尺度全体で0.95という十分な値が得られた。また、構成概念妥当性を検討するため、ストレス反応の高さを示す心理的ストレス反応尺度（SRS-18）との相関関係を分析した結果、有意な正の相関関係が認められた。ストレス尺度は（1）管理職ストレス、（2）同僚ストレス、（3）生徒ストレス、（4）指導ストレス、（5）多忙ストレス、（6）職場環境ストレスの6つの下位尺度にわかれ、本研究対象者では多忙ストレス得点が高他の全ての下位尺度よりも有意に高いことが認められた。属性およびストレス尺度得点によるストレス反応の高さの違いを分析した結果、（1）現任校所在地と管理職ストレス得点、（2）担任をしているか否かと生徒ストレス得点、（3）部活動指導をしているか否かと管理職ストレス得点、（4）部活動指導を

---

\* Graduate school of school psychology

\*\* Department of educational psychology, Tokyo Gakugei University

しているか否かと指導ストレス得点, (5) 部活動指導をしているか否かと職場環境ストレス得点および (6) 部活動指導をしているか否かとストレッサー尺度全体得点がストレス反応の高さに影響を及ぼしていることがわかった。

以上の結果から, 教師のメンタルヘルスを維持するためには, 教師一人当たりの仕事量を軽減することが重要である。そのためには第一に部活動指導の負担軽減, 第二に週持ちコマ数や担任業務の検討が必要であることが示唆された。しかし, 現実にはこうした対応を行うのに必要なマンパワーは十分整ってはおらず, 教員定員の増大も含めた体制の見直しが必要と思われた。

キーワード: 教師, 中学校, ストレッサー, ストレス